

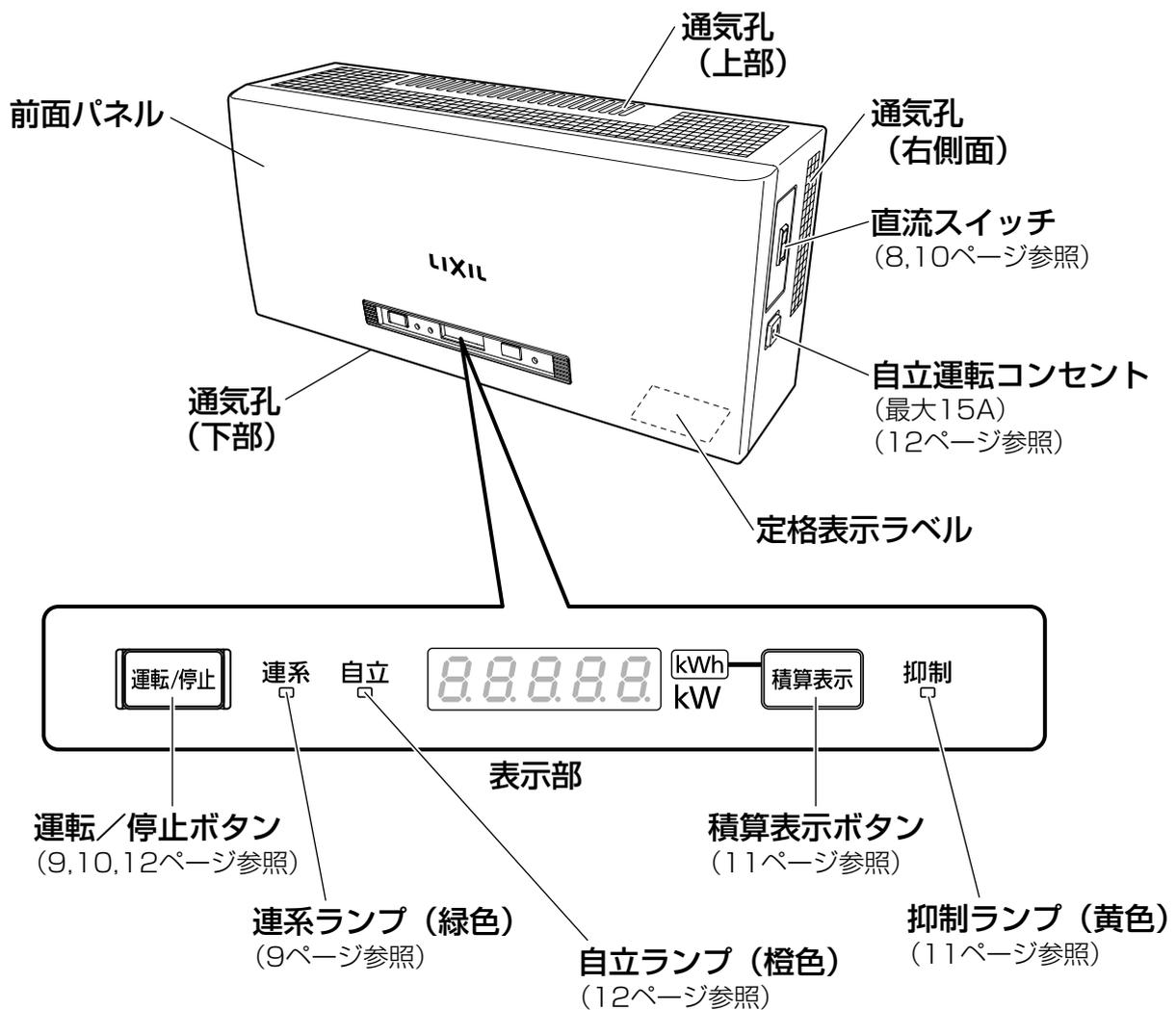
# お知らせ

## ● 発電電力について

太陽電池の定格出力は、JIS（日本工業規格）で定められた一定の条件下で算出された数値が示されています。実際の発電は、日射強度や周囲温度、設置された方位や角度により異なります。したがって、晴天日であっても常に定格通りの発電が行われているわけではありません。晴天の日中では、定格出力の約6～7割の発電電力が、おおよその目安です。なお年間の発電電力量の目安は南面設置で太陽電池1kWあたり約1,000kWhです。

# 各部の名前

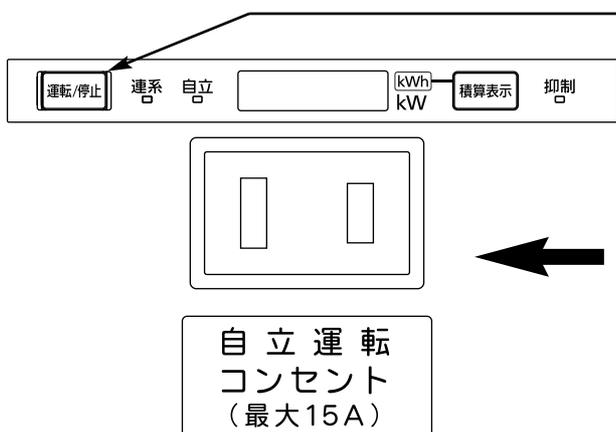
## パワーコンディショナ



# 停電時の連系運転と自立運転の切り替え

## 連系運転から自立運転にするには

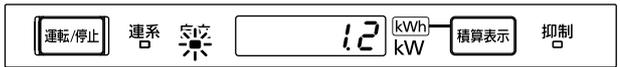
住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをOFF（切）にすることにより、自立運転に切り替えることができます。自立運転モードでは、自立運転コンセントから供給される電力により、電気製品を使用することができます。



### お知らせ

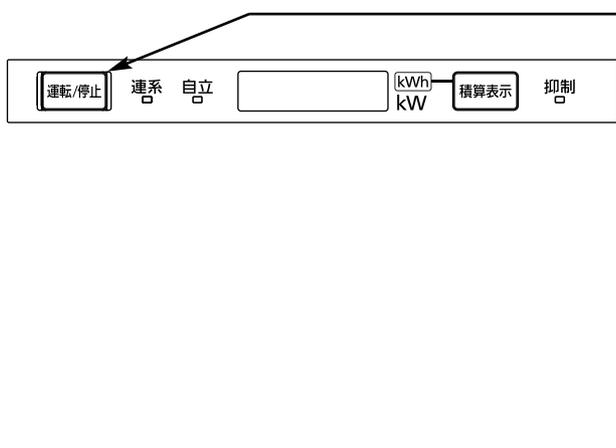
- 自立運転コンセントへのプラグの抜き差しは、ご使用される電気製品のスイッチをOFF（切）にした状態で行ってください。

1. **運転/停止** ボタンを押し、運転を停止する  
表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。
2. 住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをOFF（切）にする
3. **運転/停止** ボタンを押す  
表示部の自立運転ランプが点滅します。約10秒後に（連系運転モードから自立運転モードに変更）自立運転ランプが点灯に変わり、自立運転コンセントにAC100Vが出力されます。

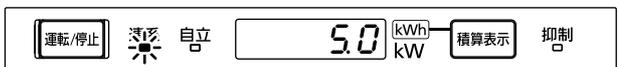


- 自立運転時の電力表示は、自立運転コンセントに接続された機器の消費電力を表示します。

## 自立運転から連系運転にするには



1. **運転/停止** ボタンを押し、運転を停止する  
表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。
2. 住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをON（入）にする
3. **運転/停止** ボタンを押す  
表示部がカウントダウンを開始すると同時に連系ランプが点滅し（約5分間）その後、連系ランプが点灯し運転を開始します。



### お知らせ

自立運転時のご注意（点検コードは14ページ参照）

- くもりや朝夕など太陽電池モジュールの発電量が少ない場合は、使用する電気製品の消費電力によって運転できずに、機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。くわしくは、14ページの点検コードをご覧ください。
- 15A以上の電流が流れた場合、機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。くわしくは、14ページの点検コードをご覧ください。最大電力が1,500W以上になる機器には使用できません。自立運転コンセントは、最大15A以下でご使用ください。
- タコ足配線での使用はおやめください。
- 太陽電池モジュールが十分に発電している時でも、洗濯機、掃除機など、モータを内蔵している電気製品は、運転開始時に大きな電流が流れるため、使用できない場合があります。冷蔵庫のような、連続的に電力の供給が必要な機器には使用できません。
- 自立運転モードで日没となった場合、翌朝は自動的に連系運転モードが選択されます。住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカがOFF（切）であれば **運転/停止** ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで、自立運転を開始します。